

授業科目名	【G】フレッシュマン・セミナーⅡ		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			必修					
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	哲学対話				担当者	豊岡 めぐみ		
授業概要	【概要】	この授業は、「世の中に正しいことはあるのか」というような、皆さんの身近な問題について対話を通して「考える」授業です。履修者同士がグループを作って、各自が自分の考えを述べ「対話」をすることで考える力を養うことを目指します。そのため、哲学講義のように、哲学者たちの思想を紹介し解説したりすることはしません。哲学の専門知識は必要ありませんのでまずはリラックスしながら対話を楽しみつつ、論理的思考力を養いましょう。						
	【到達目標】	授業目標は以下の三つです。 ①身近なテーマ、社会で問題となっているテーマを取り上げ、自分自身の経験に基づいて考え、自分の見解を主張できるようになる。 ②他者の見解を尊重する。 ③他者との意見交換を通して、論理的思考力、問題解決能力を身に着ける。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	教養演習							
教科書	特になし							
参考書	授業中に適時紹介する。							
評価方法	授業参加度・取り組みの姿勢(50%)、発表や課題提出状況・内容(50%)を総合的に評価する。							
フィードバック方法	授業内課題やレポートに対し、演習の中でフィードバックを行う。また、適宜質疑応答を行う。							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容を十分に理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、やや不十分の場合には、その程度に応じて「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。							

授 業 科目名	【G】 フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必履修				
授業内容	<p>&lt;フレッシュマン・セミナー オリエンテーション(第1～3回)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッシュマン・セミナーの概要を説明する</li> <li>・グループを決め、グループワークをする</li> </ul> <p>&lt;フレッシュマン・セミナー (第4～12回)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学対話 (「考える」という営みを大切にしながら思索を深める)</li> </ul> <p>&lt;フレッシュマン・セミナー (第13～15回)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのこと、社会で問題となっていることなどについて自分で調べ発表する</li> </ul>					
予習内容	<p>身近なことから、社会で問題になっていることをピックアップしノートにまとめましょう。 自分のテーマに関する資料を収集しましょう。 プレゼンテーションの準備をしましょう。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>哲学対話で取り上げた内容について自分の見解をまとめノートに書き留めましょう。本演習に関連するニュース・報道を調べること。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
その他	<p>対話形式で進めていきますので積極的に発言することが望まれます。</p> <p>※G加: 【必履修(〇お)】</p>					